

令和元年度 決算

ふるさと寄附金の増収と 納税義務者数の増加で 財源カバー

今定例会は、令和元年度決算特別委員会を設置し、一般会計、特別会計、企業会計を慎重に審議した。

歳入 町税は、全体で86億6000万円、対前年度2億6000万円の減収となった。

個人町民税は、給与所得者の納税義務者数の増加により、6600万円増、固定資産税も2億3000万円の増となった。

法人町民税は、自動車関連企業の減益により、4億9000万円減額したが、ふるさと寄附金の前年度比16億6000万円増収で、歳入全体を押し上げた。

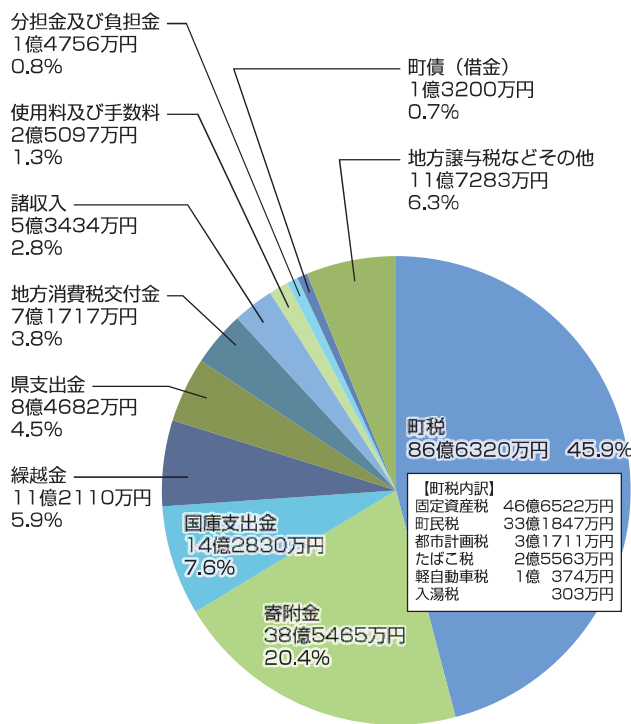
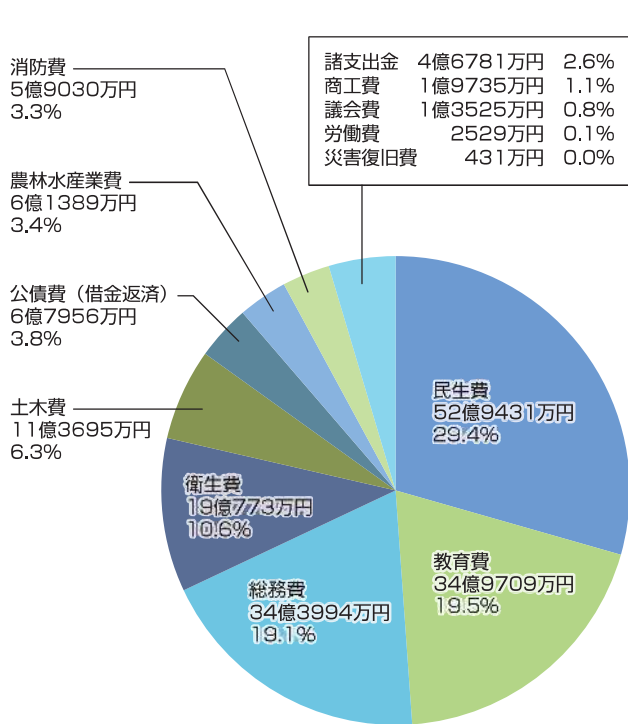
歳出 藤田医科大学岡崎医療センター建設負担金、給食センター増築工事などで、一般会計歳出総額は、前年度比30億5910万円の増額。

なお、令和元年度決算総額は、一般会計（円グラフ参照）と特別会計を合わせて、歳入250億240万円、歳出240億9200万円、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支は、7億4000万円の黒字となった。

一般会計の決算額

歳出 179億8978万円

歳入 188億6894万円



採決（反対1：賛成13で認定）

しかし、本町の行財政運営は、不確実性の高い歳入財源、また、社会保障関係経費や施設維持費等歳出の増加要因も多く、予断を許さない状況が続くものと思われる。今後も計画的かつ健全な行財政運営を念頭に、適正な公金支出と事務処理に心がけ、より良い行政サービスを効率的に住民へ提供できるよう、なお一層職務に精励されることを望むものである。

令和元年度決算では、法人町民税の減収により町税全体は減収となったが、ふるさと寄附金の大幅な増収により、前年度を上回る歳入を確保できた。また、財政指標の健全化比率等も健全な数値と判断することができた。

令和元年度決算では、法人町民税の減収により町税全体は減収となったが、ふるさと寄附金の大幅な増収により、前年度を上回る歳入を確保できた。また、財政指標の健全化比率等も健全な数値と判断することができた。

令和元年度決算審査意見書

監査委員 山下 力
 杉浦 あきら

2日間の主な審議

(総務教育関係)

問 ふるさと寄附金で、幸田町民が他市町へ寄附する人数、金額は。

答 1523人、金額では、1億3880万円。

問 ふるさと寄附金の使い道は。

答 交通安全施設整備の他、環境、産業振興、健康福祉などに関する7事業に充てている。

問 新型コロナウイルスの関係で、決算への影響はあったか。

答 学校給食の停止で、委託料、賄い料などで不用額が発生した。

問 都市交通マスタープラン改定業務の背景と成果は。

答 10年経過し見直した。デマンド型交通などによる利便性向上を目指す。



チョイソコ社会実験スタート

(福祉産業建設関係)

問 公園での危険行為などで苦情が多く出ているが対応は。

答 禁止行為表示看板を付けたら、危険器具を撤去したりしている。

問 相見駅の維持管理費が、他駅に比べて多いが。

答 自由通路、エレベーター、エスカレーターが幸田町管理となっている。

問 岡崎市子ども発達センターで、幸田町の人を利用しにくい雰囲気があるようだが。

答 ホームページに掲載するなどして、理解を促している。

問 コロナ禍の中、インフルエンザ予防接種の無料化は。

答 65歳以上などの無料化が、県から通知が来ている。

問 親切行政の予算執行率が低いようだが。

答 1人の欠員があった。人員を確保し、サービス向上に努める。

主な事業成果

藤田医科大学岡崎医療センター建設負担金

7億7550万円

小学校空調設備設置工事

3億1866万円

中学校空調設備設置工事

1億4279万円

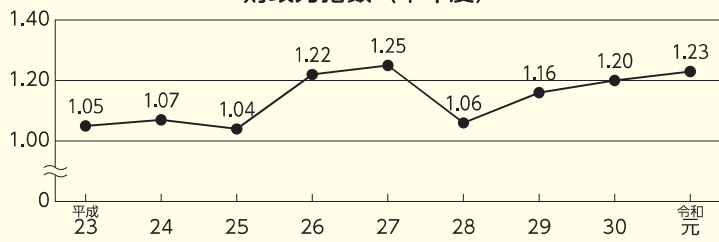
豊坂小学校校舎増築工事

1億5810万円

学校給食センター増築工事

1億400万円

財政力指数 (単年度)



より一層、財政の安定化に期待

黒木一議員

歳入においては、法人町民税は経済の景気変動で減収である。一方で、それを補っているのが「ふるさと納税」寄附金である。変動が大きく、未来永劫に続くことは有り得ないと思われるが、将来を見据えて「財政調整基金」の拡充を図り、歳入の安定化に一層のご尽力をお願いする。

賛成

反対

討論

丸山千代子議員

福祉増進の町政を

好調のふるさと寄附金は安定財源ではない。消費税率10%への増税で、法人町民税が6%に引き下げられ減少する。制限税率8・4%で自主財源の確保を。不用額1億7700万円。事業を把握し予算に反映を。

高齢者福祉タクシーや病後児保育、児童クラブ待機児解消など子育て支援の充実は評価する。今後も一層、町民要望に応えたい。

消費税増税をはじめ国の悪政は町政にも影響する。格差と貧困が拡大するなか、福祉増進の町政を。

特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計名		歳入	歳出	採決	
特別会計	土地取得	2139万円	70万円	全員賛成で認定	
	国民健康保険	31億7260万円	31億6939万円	反対1：賛成13で認定	
	後期高齢者医療	4億1927万円	4億1904万円	反対1：賛成13で認定	
	介護保険	19億6674万円	19億4113万円	反対1：賛成13で認定	
	幸田駅前土地区画整理事業	2億2310万円	2億1954万円	全員賛成で認定	
	農業集落排水事業	3億5213万円	3億5213万円	反対1：賛成13で認定	
企業会計(税抜)	水道事業会計	収益的収支	7億9585万円	6億6140万円	反対1：賛成13で認定
		資本的収支	7877万円	2億5649万円	
	下水道事業会計	収益的収支	6億5846万円	6億3195万円	反対1：賛成13で認定
		資本的収支	3億2663万円	4億1270万円	